

【様式】

政 務 活 動 一 覧

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
	R6. 4. 2	鳥取市	議会棟	危機対策・情報課 木山課長ほか県執行部関係者	県政策等に関する聞き取り	405
	R6. 4. 2	鳥取市	議会棟		鳥取県議会タスクフォース会議	405
	R6. 4. 17	鳥取市	議会棟	農林水産部 岡垣部長ほか県執行部関係者	県政策等に関する聞き取り	407
	R6. 5. 7	鳥取市	議会棟		鳥取県議会自由民主党政務調査会役員会	502
	R6. 5. 7	鳥取市	議会棟	未産業未来創造課 井田課長補佐ほか県執行部関係者	県政策等に関する聞き取り	502
R6. 5. 13～17	R6. 5. 13 14:00～16:30	東京都千代田区	衆議院第二議員会館	石破茂衆議院議員、赤沢亮正衆議院議員、国交省都市局市街地整備課 熊木企画専門官ほか関係職員	国政に対する要望・意見交換、区画整理に関する聞き取り調査	活動報告(県外)のとおり
	R6. 5. 14 13:00～16:30	青森県六ヶ所村	原子燃料サイクル施設	日本原燃株式会社 常務執行役員ほか関係者	原子燃料サイクル施設視察	活動報告(県外)のとおり
	R6. 5. 16 9:10～17:00 R6. 5. 17 10:00～11:30	東京都豊島区、新宿区、江戸川区、港区	豊南高校、東京都庁、アゼリーグループ社会福祉法人江寿会、とっとりおかやま新橋館	豊南学園 理事長ほか関係者、東京都教育庁指導部体育健康教育担当課長ほか教職員、アゼリーグループ 代表ほか関係職員、鳥取県東京本部 堀田本部長ほか関係職員	ICTを活用した体力・運動能力調査、地域共生の複合的な取組、県産品のPR・販路拡大に関する視察調査	活動報告(県外)のとおり

【様式】

活 動 報 告 (県外)

議員名：河上 定弘

活 動 事 項	国政に対する要望・意見交換、区画整理に関する聞き取り調査
活 動 年 月 日	R 6 年 5 月 1 3 日 (月) 移動、14:00～16:30 政務活動 ① 14:00～15:00 国交省都市局 ② 15:10～16:00 赤沢亮正 衆議院議員 16:00～16:30 石破 茂 衆議院議員
場 所	衆議院第二議員会館 (東京都千代田区)
活 動 の 相 手 方	① 国土交通省道路局都市局市街地整備課 熊木企画専門官ほか関係職員 ② 石破茂衆議院議員、赤沢亮正衆議院議員
活 動 の 目 的	鳥取県の課題に係る国政の事項に関して調査、要望、意見交換を実施し、真の地方創生を成し遂げるために、今後の県施策への提言・反映に繋げることを目的とする。
活 動 の 内 容	① 現在、全国各地で実施されている土地区画整理事業の状況や、国が推し進めようとしている「柔らかい区画整理」について、国交省都市局からヒアリングし、意見交換を行った。 ② 鳥取県のインフラ整備、防災・災害発災時の対応、人手不足解消への取組、所得向上に向けた取組などに関しての国政に係る事項に対し、石破茂衆議院議員、赤沢亮正衆議院議員と、それぞれ個別に面談し、地元の現状を伝え、課題解決に向け強く要望し、意見交換を行った。
活 動 の 結 果 等	① 防災上の狭隘道路の解消や中心市街地の再活性化などの課題解決のために国が進める「柔らかい区画整理」についてヒアリングし、鳥取県内での適用の可能性について検討し、関係各所への働きかけを実施するなど、必要な取組に関して議会活動などに反映させていきたい。 ② 課題が山積する中で、国の取組状況などの情報を収集し、鳥取県の現状を地元選出衆議院議員に伝え、要望し、意見交換を行うことで、国政に広く反映させるとともに、県政に向け、議会質問などに繋げて反いきたい。
関連領収書番号	408、505

【様式】

活動報告(県外)

議員名：河上 定弘

活動事項	原子燃料サイクル施設視察
活動年月日	R6年5月14日(火) 移動、13:00～16:30 政務活動、宿泊 同上15日(水) 移動日
場所	日本原燃株式会社 原子燃料サイクル施設(青森県六ヶ所村)
活動の相手方	日本原燃株式会社 ■■■常務執行役員、■■■フェローほか関係職員
活動の目的	国の安全で環境などに配慮した持続可能なエネルギー政策を展開していくうえで重要な位置づけである原発政策に関連し、我が国、唯一の原子燃料サイクル施設を視察し、その仕組み・安全性・コストや今後の取組みに関して学び、関係者と意見交換することで、今後のエネルギー政策への提言・反映に繋げることを目的とする。
活動の内容	日本原燃株式会社が運営している原子力燃料サイクル施設に関する概要説明の後、ウラン濃縮工場、低レベル放射性廃棄物埋設施設、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、安全対策工事現場などを視察し、関係者と質疑応答、意見交換などを行った。
活動の結果等	ウラン濃縮工場、低レベル・高レベル放射性廃棄物埋設施設や放射性廃棄物貯蔵管理センターを視察し、現状の最先端の原子燃料サイクル事業について、また現在、建設中のMOX燃料工場の仕組みについて学び、国の進めるエネルギー政策の一つに位置付けられている原発政策に関連する処理・サイクル事業の安全面、環境面、コスト面に関して関係者との質疑応答、意見交換を行い、見識を深めることができた。 今後の安全・安心で環境・コストにも配慮した持続可能で安定的なエネルギー政策を考え、推し進める一助とするとともに、必要な取組みに関して議会活動などに反映させていきたい。
関連領収書番号	410、506、507

【様式】

活動報告（県外）

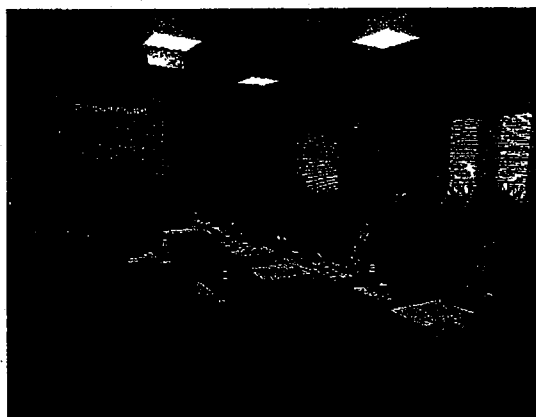
議員名：河上 定弘

活動事項	① ICTを活用した体力・運動能力調査②地域共生の複合的な取組、③県産品のPR・販路拡大に関する視察調査
活動年月日	R 6年5月15日（水）移動日、宿泊 同上16日（木） 9:10～17:00 政務活動、宿泊 ① 9:10～10:15 豊南高校、11:00～12:00 東京都教育庁 ② 14:30～17:00 アゼリーグループ 同上17日（金）政務活動、移動日 ③ 10:00～11:30 とっとりおかやま新橋館
場所	① 豊南高校（東京都豊島区）、東京都庁（東京都新宿区） ② アゼリーグループ社会福祉法人江寿会（東京都江戸川区） ③ とっとりおかやま新橋館（東京都港区）
活動の相手方	① 豊南学園 ■■■■■ 理事長・ペスタロッテテクノロジー（株） ■■■■■ 社長、東京都教育庁指導部体育健康教育担当課 伊東課長ほか関係者 ② アゼリーグループ ■■■■■ 代表ほか関係職員 ③ 鳥取県東京本部 堀田本部長ほか関係職員
活動の目的	① 学校における体力・運動能力調査に関して、人手不足対策、職員負担軽減のため、またデータの有効活用のために、デジタルを活用したシステムについて調査、研究し、県での取組への活用を目的とする。 ② 人口減少が問題となっている中で、先進的に複合的な取り組みを行うことによる地域共生社会システムを調査、研究することで、本県での取組推進に繋げることを目的とする。 ③ 「とっとりおかやま新橋館」における県産品のPR並びに販路拡大に向けた取組について調査することで、今後の県政への反映を目的とする。
活動の内容	① 小中高の体力・運動能力調査に関して、体力・運動テストの結果を即時にタブレット端末に入力している現場（豊南高校）を実際に視察し、教職員、生徒に話を聞くと共に、ICTを活用した体力・運動能力調査の実施を公立校へ導入した東京都教育庁に出向き、導入の経緯、現況や現場での声などのヒアリング、意見交換を行った。 ② 保育施設、高齢者施設を運営し、デジタルを活用しながら、先進的に地域共生への取組を行っているアゼリーグループ社会福祉法人江寿会の地域共生複合施設を訪問し、施設内を見学させてもらおうと共に今までの取組や今後の展望などについて意見交換を行った。 ③ 新規オープンしたアンテナショップ「とっとりおかやま新橋館」の物販店舗、飲食店舗を視察し、県産品の販売・消費状況などの確認、意見交換を行った。

活 動 の 結 果 等	① 体力テストにおいて、実際に生徒（高校生）が自身のタブレットに直接、自分自身のデータを入力し、即時反映され、他者との比較、過去データとの比較などが瞬時にできること、またデータ入力・収集の手間が大幅に削減できることは、教職員の働き方に資するやり方であると実感した。実際、東京都教育庁でも今年度から公立小中学校でこのシステムを採用し、成果をあげているとのことで、本県での取組にも採用できるところは提案などしていきたい。 ② まさに子供から高齢者までが集い、必要なサービスが受けられる複合施設となっていること、また先駆的に地域が関わる仕組み、施設づくりを進めていることは、本県の取組にも活かされる部分であり、今後の提案などに反映していきたい。 ③ 現地調査を行ったこと、また東京本部長や職員などとの意見交換を踏まえ、首都圏における県産品の需要促進、また販路拡大のための取組について今後、提案など行っていきたい。
関連領収書番号	409、508



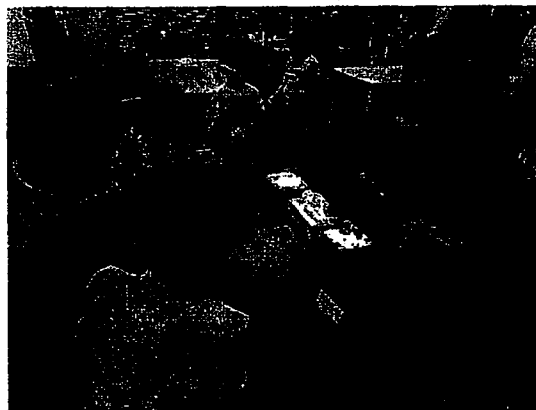
原子燃料サイクル施設視察



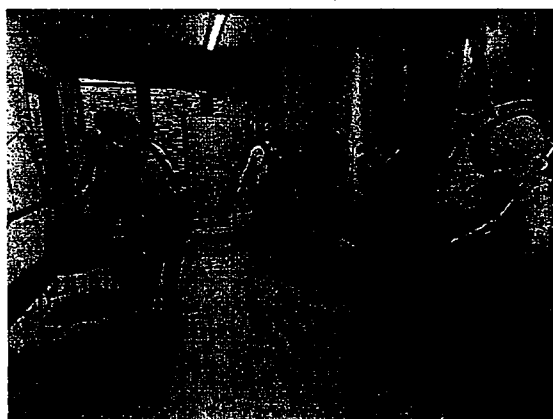
日本原燃（株）意見交換



豊南高校体力テスト視察



アゼリーグループ視察



アゼリーグループ視察



とっとりおかやま新橋館意見交換



とっとりおかやま新橋館視察